

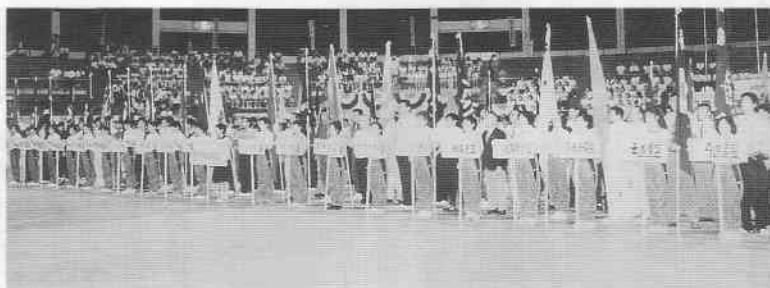
あすなと高岡

第 10 号



2000年とやま国体開催正式決定記念

第50回記念高岡市民総合体育大会総合開会式

 ●とき 7月12日(土)
 ●ところ 高岡市民体育館


平成9年度 評議員会

・4月19日(土)
・高岡商工ビル



去る4月29日(土)に開催された平成9年度の評議員会において、次の事柄を承認・可決しました。

一、平成8年度事業報告・収支決算及び剰余金の処分について

二、財高岡市体育協会寄附行為の一部改正

三、役員の一部変更

四、平成9年度事業・収支予算

五、新加盟団体

〈寄附行為の一部改正〉

新条文

第21条 本会に次の役員を置く

(5)理事 25名以上30名以内

(会長、副会長、専務理事及び常務理事を含む)

第27条 本会に評議員100名

以内を置く

旧条文

第21条 本会に次の役員を置く

(5)理事 20名以上25名以内

(会長・副会長・専務理事及び常務理事を含む)

第27条 本会に評議員80名以内

を置く

〈新役員〉

副会長 荒井武夫(スキー連盟会長)

大坂昭輔(前専務理事)

専務理事 川淵義弘(前北信越中体連会長)

理事 高野健一(スポーツ振興事業団事務局長)

鎌谷昱朗(市小学校行事

委員長)

〈新事務局員〉

事務局長 横山 勲(高岡市派遣)

事務局次長 米田弘之(高岡市派遣)

〈本年度の予算〉

平成9年度予算総額 5,349万円



本年度新たに次の団体が本会に加盟されました。

〈新加盟団体〉

●高岡市ボウリング連盟

会長 向井 英二

●高岡市ゴルフ連盟

会長 渡辺 辰男

2団体の加盟により、本協会の加盟は中体連・地区高体連を含めて37団体であります。

受賞おめでとうございます。

〈表彰者〉

★表彰者

西田 弘(市民歩こう会)

健康で明朗な市民生活のために幹事長として尽力する。

高尾 宗嗣(クレール射撃協会)

理事長・副会長として競技振興に尽力する

気谷 篤人(バドミントン協会)

佐々木 忍()

全日本総合選手権 混合二位

今井 彰宏(バドミントン協会)

本田 和裕()

全日本社会人選手権 複二位

本山 秀昭(バドミントン協会)

全日本社会人選手権 単三位

今井 紀夫(バドミントン協会)

松田 治子()

全日本総合選手権 混合一位

全日本社会人選手権 混合一位

谷内 貴昭(バドミントン協会)

全日本社会人選手権 単二位

谷内 政宏(パワーリフティング協会)

全日本マスターズ選手権(40才

60kg)一位

トナミ運輸(株)バドミントン部

全日本実業団選手権 一位

国民体育大会 一位

日本リーグ'96 二位

三協アルミニウム工業(株)バドミントン部

全日本実業団選手権 一位

国民体育大会 一位

日本リーグ'96 二位

戸出伊勢領チーム(ゲートボール協会)

全国健康福祉祭大会 一位

★感謝状

藤森 和憲(野球協会)

審判員・理事として協会運営に尽力する。

幡 友三郎(相撲連盟)

市連理事として実業団チームの発展に尽力する。

中沢 邦男(相撲連盟)

市連役員として、相撲の普及・振興に尽力する。

関森 義徳(柔道連盟)

市連理事として中学・高校の指導に励み、県体連続優勝に貢献する。

伊東 洋三(クレール射撃協会)

県体選手として活躍するとともに理事として協会の発展に尽力する。

松田 恵子(卓球協会)

競技の普及に努めるとともに理事として協会の発展に尽力する。

大浦 幸信(ゲートボール協会)

事業の運営に努力され、協会の発展に尽力する。

池田 稔(アマチュアボクシング連盟)

役員として市連の発展に尽力する。

佐々木 実(バレーボール協会)

役員として競技力向上に努め、協会発展に尽力する。

浅井 三良(バレーボール協会)

役員として協会の中心的役割を果たし、発展に尽力する。

炭谷 久夫(サッカー協会)

役員として協会の発展に尽力する。

吉久卓球サークル(卓球協会)

全国的な大会に連続出場するとともに児童の指導・育成に尽力する。

スポーツあんぐる

子ども達のスポーツ指導にあたっては、競争や勝敗に対するウエイトが大きいため、敗者は挫折感や劣等感を味わい参加意欲を失うこともあります。それだけに指導者は勝つ喜びなどの成功感・成就感を味わうことのできる工夫や手立てが必要です。

スポーツ指導といえは、直ぐに技術やルール、また、体力づくりのフログ

二〇〇〇年とやま国体

高岡市実行委員会の設立

去る8月1日(金)午後3時30分より「ホテルニューオータニ高岡」

において第55回国民体育大会高岡市準備委員会第3回総会が開催され、ゴルフ競技(少年男子)の追加など14の報告事項や、平成8年度の事業報告・収支決算、平成9年度の事業計画・収支予算などが審議されました。引き続いて去る7月8日、(財)日本体育協会理事会において、第55回国民体育大会の富山県開催が正式決定されたことを受けて、このたび準備委員会を発展的に改組し、「二〇〇〇年とやま国体高岡市実行委員会」の設立

ラムを提供し実践させることであると考えられがちだが、指導は子ども達の発達・欲求・能力を踏まえ、指導者自身や子ども達に成長して欲しいかという目標をしっかりと見定め、将来像を描くことが肝要でなかつた。この点の認識と把握をまちがうと、画一的、一面的な指導になり、「教え過ぎ」「鍛え過ぎ」などの原因になります。

子ども達のスポーツ指導は何よりも「スポーツに親しむ態度」を育てること



について審議され、その会則や役員、各委員会の構成が決まり、いよいよ高岡市としての本格的な取り組みが始まりました。

が大切であります。指導者が目先の技術・体力の向上や勝敗のみにこだわりすぎると、スポーツ嫌いやスポーツ障害をもたらすことにもなります。子ども達のスポーツは、強制や命令、管理や統制ではなく子ども自身の自主性・自発的な活動が望ましく、「結果」より「過程」を大切にした指導であってほしいものです。

第50回記念高岡市民総合体育大会を終えて

専務理事 川 淵 義 弘

今年の市民体育大会は第50回の節目を迎えることから、4月に実行委員会を発足させ、歴史あるこの大会を盛り上げようと、多くの意見をいただきながらイベントを考えてみた。

限られた予算内で如何に実をあげるかという基本に立ち、国体準備室とも連携を密にし、7月8日の「国体開催正式決定」を受け、市民全体で盛り上げる市体にしたと願った。

総合開会式では、市民の多くが参加しやすい7月12日(土)の午後4時とした。さらに、市のマークとかがたかごの花をあしらった記念バツジを1万1千個製作し、参加選手だけでなく、開会式の観客にも配った。

また、市民体育大会と二〇〇〇年とやま国体に向け、ともに飛躍しようということで大会の冠に「二〇〇〇年とやま国体開催正式決定記念」と付け、総合開会式に

はふだん市体に出場しない企業チームを招いて、開会式の中で市内の7企業1大学の選手を紹介し激励した。

アトラクションも芳野中学校の吹奏楽部の演奏や南星中学校のバトントワリング部の演技、そして高岡市民レクリエーション協会の方々170名による「万葉音頭・スパシーヴァ高岡」の披露で盛大



な拍手をもらったのである。

一方、ジュニア層強化対策の一環として中学生全種目の優勝カップをすべて新調し、盛り上げを図った。

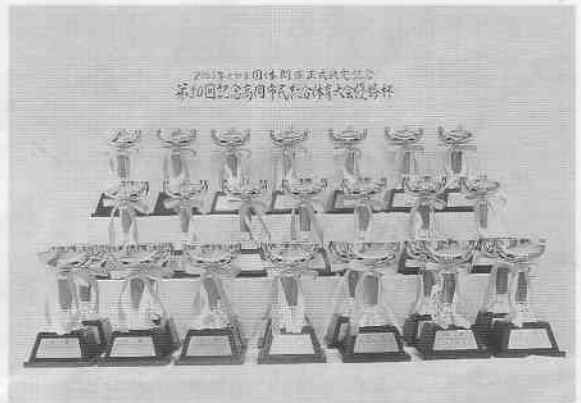
観客や選手数は当初の予定ははるかに越え、約1、100名で体育館内が華やかさと熱気で包まれたのである。

また、競技内容においても、市民がだれでも参加できるようにレクリエーション性の強い、ティボール、ビーチボール、ボウリングの三種目の生涯スポーツを新規に加えたほか、ソフトテニス、バドミントンには百歳ペア、ゲートボールには親子ペアを組んで、子供からお年寄りまで参加できるようにした。

大会運営については7月12、13日が基準日であったが、両日とも雨に見まわれ、屋外競技が延期となり、県体選手申込みが間に合わずただしがきで対応した。

以上、大会内容をおおまかに振り返ってみた。

ここで、市民体育大会も半世紀を経た今日、歴史ある大会の趣旨を踏まえ、競技スポーツと生涯スポーツの普及とのかねあいをどう進めていくべきか考えてみたい。もともと県体にしても市体にしても、その趣旨、目的から「民」のスポーツとしてだれでも参加できるよう、そしてその振興を図ってきたものである。したがって、近年、一部から三部の競技に分けられ、一部はチャンピオンスポー



2000 年とやま国体開催正式決定記念

第 50 回記念高岡市民総合体育大会



日 時 平成9年7月12日(土) 午後4時 総合開会式

場 所 高岡市民体育館

式 次 第

- ・アトラクション
- ・役員選手団入場
- ・開会宣言
- ・国旗・市旗・市体協旗掲揚
- ・優勝杯披露
- ・大会長あいさつ
- ・あいさつ
- ・祝 辞
- ・来賓紹介
- ・選手代表宣言
- ・企業スポーツチーム紹介
- ・役員選手団退場

主 催 第50回記念高岡市民総合体育大会実行委員会

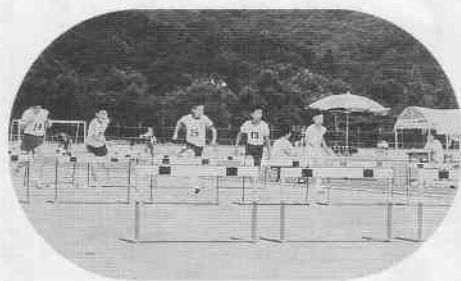
ッ(国体予選等を兼ねたもの)二部は中学、一般を中心とした郡市対抗としての競技、そしていわゆる生涯スポーツとしての小学生から婦人層まで参加できる三部と、まさに市民挙げての大会である。

このように市体も新種目が次々と生まれてくるのといまって、先の総合開会式でも加盟団体37に賛助団体及び生涯スポーツ団体を加え44競技団体が入場行進し、盛大なものであったが、運営面では大変多様化しているので課題も残るところである。

体育協会としては、国体もひかえている今日、競技スポーツはもちろん、その機能を十分に生かし連絡・調整を図っているところであるが、各競技団体の方々にもご理解を頂き、これからの市民体育大会がより以上に盛り上がるよう願うところである。

そして、生涯スポーツ面でも市民スポーツ振興事業団と連携を密にし、市民一人、一スポーツ的な考えの基に振興を図り、この高齢化社会に対応していきたいと願っている。

フ ナ ス 市 体



彼は、競技経験が3年と浅いものの、平成8年度全国中学校水泳競技大会男子高飛込で11位になった。現在も県高岡総合プールで清水國重コーチのもと、日々技を磨いている。その結果、本年も全国

彼は、二〇〇〇年とやま国体のホープでもあり、今後も自分の技を磨き全国レベルで活躍できる選手になりたいという意気込みをみせている。

高岡市立
南星中学校三年

馬淵 元 成

「1000年とやま国体」
をめざして

ホープ紹介

中学校大会と全国ジュニアオリンピック大会への出場権を獲得した。冬場のトランポリンを使ったトレーニングや基礎体力トレーニングに積極的に取り組んだ結果、今年になって難度の高い技を身につけた。また、試合経験が豊富になつたこともあり、落ち着いて演技ができるようになり、昨年に比べ得点かなり上がって、全国大会での上位入賞が期待できる。

高岡市企業スポーツ等の 激励・交流会

二〇〇〇年とやま国体を3年後に控え、本市に所在する企業スポーツチームでは日頃の練習にも一段と熱が入ってきております。

チーム力を強化するため毎年有力選手の確保に積極的に取り組んでいます。また、これらのチームは高岡市のジュニア選手にも大きな目標となり、本市の競技力向上にもつながっています。

このようなことから、去る4月28日に企業や大学チーム一同が集まりチーム同志の情報交換などをおとして監督・選手の皆さんと交流を深めました。体育協会としても、より良い練習環境・生活環境を整えるための一助とするためこの会を催しました。会には企業チーム等から140名、高岡市長をはじめ市教委、体協からも多数の参加があり盛況の中に終りました。



加盟団体紹介 ⑱

高岡市クレール射撃協会



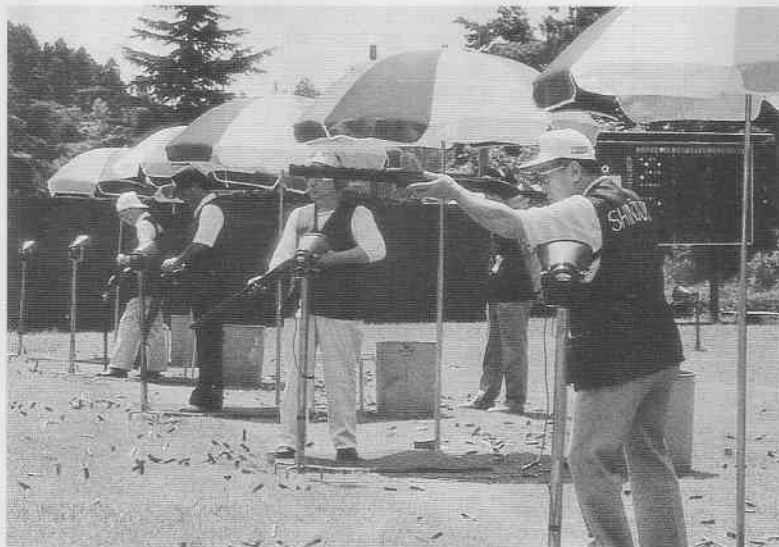
優勝の高岡チーム

昭和20年代後半になり、世情漸く落ちついて、クレール射撃の母体である獵友会々友の増大に伴い、射撃競技が実施されたのは昭和31年頃、高岡での最初は伏木雨晴海岸、2度目は庄川左岸下伏間江地区次いで小矢部川右岸国条橋下流で1名5発の射撃、今にして思えば誠に大らかでのんびりした競技の実態でありましたが、その積み重ねが今

日の協会の基礎であり、先輩各位の努力の賜物であることは言うまでもありません。昭和33年第13回富山国体を機に、大沢野に富山県クレール射撃場が設置され、練習の機会も増大し昭和35年4月高岡市クレール射撃協会の発足、以後国体を頂点とする競技の一端として充実されて、国体にも度々高岡選出の選手が参加をしている。昭和52年には高岡市至近地に射撃場をと、市長市議会に対し公認射撃場の設置請願を

重ねる迄に盛んに努力を致すも実るまでにならなかった。一般スポーツと異なり器具の制約又練習場の特定が大変厳しいものがあります、昨年、一昨年連続し

て国体に於てクレール射撃トラップ部門の優勝を富山県勢が獲得。この勢いを大いに二〇〇〇年国体に向けてジュニアの育成に力を注ぎ、少なくとも月1回の会員親睦と技術向上を目ざし、射撃大会を実施し続けている。



トラップ射撃、集中の一瞬

《スポーツドクター・アドバイス》

疲労骨折について

高岡市民病院整形外科 山 田 均

人の骨格は、普通の日常生活を送る上においては、十分強固にかつ機能的にできています。しかし、長距離走やジャンプなどを繰り返す競技においては、骨の同じ部分に繰り返しストレスが加わるため、骨への疲労が蓄積し、しまいにはひびが入ってしまうことがあります。これを疲労骨折といいます。硬い金属の棒であっても、曲げのストレスを繰り返すにつれて、ポキッと折れてしまうのと同じことです。

ランニング、ジャンプの繰り返しや足の骨に発生することが多いのですが、その他の原因として、運動環境の変化、すなわち道路、グラウンド、芝生、タータン、人工芝、体育館の床の性状なども関係します。個々の体の特性では、X脚やO



図 おもな疲労骨折の発生部位と原因となりやすい競技種目

脚や扁平足などが関係してきます。発生部位は下肢に多いのですが、競技種目によっては上肢の骨や背骨にも発生します。早い時期に休養をとれば2〜3週で完全になりますが、無理を続けていると6ヵ月以上も痛みが続くこともあります。最近ではレントゲン検査以外に特殊検査により早期診断が可能ですので、おかしいと思ったら早めに専門医を受診すべきでしょう。

疲労骨折をおこしやすい部位と競技について図に示しましたので参考にして下さい。

高岡市体育協会

創立50周年記念事業

決まる

去る6月19日の理事会において当協会の50周年の事業の大綱が次のように決まりました。

一、記念式典と祝賀会

5月23日(土)

ホテルニューオータニ高岡

二、記念誌の発行

現在編集集中、明年の3月末日

まで印刷完了。

三、記念講演

四、実行委員会の設立

記念事業を推進するため、総務・式典・記念誌の三部門を構成し準備にあたる。

講演会の案内

- 演 題 「スポーツシューズの医学」
- 日 時 9月12日(金)午後7時より
- 場 所 ホテルニューオータニ高岡4階
- 講 師 城南病院院長 石塚忠雄先生
- 主 催 呉西地区臨床整形外科医会
- 申込先 体協事務局 26-5225

〈行事予定〉4・5月を除く

6・1(日) スポーツ医科学栄養処方相談教室

6・4(水) 市体プロ編成会

6・10(火) テーピング講習会

6・19(木) 理事会・50周年記念実行委員会

7・6(日) 市体陸上競技

7・12(土) 第50回記念市民総合体育大会開会式

7・12(土) 市体競技会

7・24(火) 市体反省会

7・29(火) 広報部会

8・1(金) 第55回国民体育大会高岡市準備委員会

8・8(金) 第50回記念県民体育大会開会式(新川文化ホール)

8・9(土) 県体競技会

8・14(土) 優秀チーム・指導者招へい事業

8・14(土) 市加盟団体スポーツ議員懇談会

9・4(木) スポーツ医科学委員会強化育成部会

9・9(火) 50周年記念誌編集会議

9・12(金) 市体ラグビー競技

9・13(土) 第52回国民体育大会夏季大会(大阪)

9・13(土) 高岡市剣道大会

9・15(月) 第43回前田杯ソフトテニス大会(一般の部)

9・21(月) 第43回前田杯バレーボール大会

9・23(火) 市体50周年記念式典実行委員会

10・1(水) 市体50周年記念式典実行委員会

10・8(水) 広報部会

10・14(火) 指導普及部会

10・25(土) 第55回国民体育大会秋季大会(大阪)

11・2(日) 市中学校運動部リーダー研修会

11・9(日) 市駅伝競走大会

11・23(日) 富山県駅伝競走大会

11・28(金) 市体協競技力向上推進委員会

12・7(日) 理事会

12・7(日) 役員研修会

12・7(日) 平成10年新春武道稽古始め(弓道)

1・3(土) 新春武道稽古始め(柔道他)

1・4(日) 新春武道稽古始め(柔道他)

1・22(木) 市体協50周年式典実行委員会

平成9年度優秀チーム・指導者招へい事業(水泳飛込競技)

8月14日～20日の日程でソウル・バルセロナ・アトランタ五輪でコーチ、監督を務めた森井博之氏とアトランタ五輪の6位入賞者の元渕幸氏をはじめ、天理ダイビングクラブ、天理大学水泳部の選手を招き、高岡総合プールで高岡ダイビングクラブを中心とした富山県のジュニア選手と合同合宿を行い、その成果が期待される。

第2回栄養処方相談事業

平成9年6月1日(日)高岡市ふれあい福祉センターにて競泳選手の食事担当者を対象に行なわれた。

前回同様、調理実習を含んだ講義が行なわれた。さらに、選手の年齢などによりグループ分けされ、グループ学習が行なわれた。この中で参加者からは、日頃の食生活での疑問や問題点が熱心に討議された。



新事務局員紹介

「よろしくお願ひします」



川渕 義弘
専務理事



横山 勲
事務局長



米田 弘之
事務局次長

編集◆後◆記

高岡市体は昭和23年にスタート以来、本年は50回の記念大会でありました。総合開会式に記念式典が行われ、市スポーツ関係者一同が市民体育館に参集し、入場行進にはじまりはなばなく挙行されました。今回は50回記念の市体特集しました。この50回市体を契機に、次の100回大会をめざし、一層充実を図り総合的なスポーツ大会として市民の期待に応えるようにしたいものです。